

令和6年度 長崎市ストップCKDネットワーク会議 記録

(日時) 令和7年3月19日(水)

19:00~20:00

(会場) 長崎市役所 9階中会議室

会議次第

1 開会

2 挨拶 長崎市市民健康部健康づくり課長

3 議事

1) 長崎市の慢性腎臓病(新規透析患者数の現状について)

- ・令和5年の透析患者数は1,324人で、新規透析患者数は156人
- ・長崎市の過去5年間の新規透析患者の原疾患の割合の内訳は糖尿病性腎症32.1%、腎硬化症30.8%、慢性糸球体腎炎10.9%

⇒委員からの意見

- ・長崎県は、女性の人工透析患者の減少率が高くなっており、過去と比較してよくなっているのではと感じており、期待をこめている。

⇒委員からの意見

- ・末期腎不全でも透析をしない人もでてきている。ストップCKDの意味を考えると。その情報を分析することも必要なのではないか。

⇒委員からの意見

- ・新規透析患者の原疾患の割合については、どれだけ正確であるかは不明なのではないか。

(腎専門医回答) しっかりとした確定診断ではないと考える。腎臓のサイズは保たれているが、腎機能が低下している場合は糖尿病性腎症、腎臓のサイズが小さくなっている場合は腎硬化症とする場合が多い。

⇒委員からの意見

- ・県内の地域差についてはわからないのか。
(事務局回答) 現時点でお示しできる資料がない。

⇒委員からの意見

- ・新規透析患者数について、長崎と近い都市(同規模レベル)との比較をした方がよいのではないか。

⇒委員からの意見

- ・ストップCKDに取り組み始めたきっかけとして、慢性腎臓病になる人を減らしたい理由の一つに医療費の削減があったかと思う。現在、医療費がどうなっているのかを示すことは可能か。

2) 令和6年度の取組及び令和7年度の計画について

【令和6年度の取組】

- ・世界腎臓デー講演会（市民公開講座）を開催し、事前予約で138人申込あり。
- ・腎臓いきいき講座 11-1月にかけ4か所で開催し、延122人参加。
- ・かかりつけ医向け研修会を開催し、42人参加。
- ・管理栄養士による個別指導は依頼件数35件で、指導実績は延145人。集団栄養教室は6回開催し、延27人参加。

【令和7年度の計画】

- ・世界腎臓デー講演会（市民公開講座）は会場の変更やオンライン配信を検討。
- ・腎臓いきいき講座は75歳以上の方への案内発送について検討（高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施に伴う）。
- ・コメディカル向け研修会の開催検討。
- ・管理栄養士による個別指導の依頼件数が減少しているため、周知等について検討。

⇒委員からの意見

- ・後期高齢者の割合が増えていることから、慢性腎臓病に限らず対策が必要ではないか。

（事務局回答）保健と介護の一体的実施については、全国と比べて長崎市は遅れている。令和5年度に1圏域から取組を始め、令和6年度には4圏域に拡大し、令和7年度からは市内全域での実施を予定している。全国に追いついていきたい。

⇒会長からの意見

- ・腎臓いきいき講座について、現在のやり方は効果があるのか。講師として医師を派遣しているが、4会場に派遣するのは手間もかかる。やるからには多くの人に参加してもらいたい。地域差等あるのか。分析を教えてほしい。

（事務局回答）参加者については、もともとの対象者が少ないということもあるが、北部での実施では参加者が少ないと聞いている。

⇒会長からの意見

- ・4会場ではなく1会場での開催等、今後検討してほしい。また、今年度の世界腎臓デー講演会（市民公開講座）では、連携協定を締結した会社の協力もあり、新聞への広告折り込みを行うことで、すぐに定員に達した経過がある。これまでは広報ながさきの巻頭ページに取り上げてもらうことが最も効果があると考えていたが、新聞折り込みの方が効果があり、周知の方法によって、集客を見込めることがわかった。若い人はSNSしかみないため、比較的年配の方の参加が多かったが、対象にしたい年齢層に応じて、周知の方法も検討が必要。

3) 「第3次健康長崎市民21」新規透析患者数の目標値の設定について

- ・「第3次健康長崎市民21」の6つの健康分野のうち、「健康チェック」の目標として、新規透析患者数の減少をあげている。最終評価を行う令和14年の目標値は令和5年の実績値をベースライン値とし、その値を踏まえて検討することとしている。

平成 30 年 7 月に腎疾患対策検討会より出された評価指標を基に定めてよいか苦慮している。委員の助言をいただきたい。

⇒委員からの意見

- ・この目標値を達成しなければ、補助金等がもらえない等の問題があるのか。
(事務局回答) 特に補助金等の交付には関連していない。

⇒委員からの意見

- ・国が定めている評価指標をもとに定めるのがよいと思うが、地域の実情に応じて、長崎市の人口減少率等を加味して定めるのであれば問題ないのではないかと。

4) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社との連携協定締結に関する報告

⇒会長からの意見

- ・県では日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社以外の民間企業とも連携協定を締結している。今年度の市民公開講座での周知協力等ではとても効果があったため、今後も協力しながらすすめていってほしい。

5) その他

⇒会長からの意見

- ・ストップ CKD ネットワーク会議が始まってから 10 年以上が経過している。かかりつけ医との連携等マンネリ化しているのではないかと。これまでやってきた結果を分析しまとめを行う時期が来たのではないかと。そして、今後の新しい展開を検討していく必要があると考える。

4 閉会